



報道関係各位

2026年1月7日

ご取材のご案内

済生会横浜市東部病院 災害医療総合訓練の開催

～災害時対応を300人規模で確認・検証、携帯トイレ設置訓練を初実施～

【日時】2026年1月18日(日) 8:30～12:30

【会場】済生会横浜市東部病院

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院)は、「横浜市で震度6強の地震発生」を想定した、「2025年度済生会横浜市東部病院 災害医療総合訓練」を2026年1月18日(日)に開催いたします。約300人(昨年度実績)が参加し、市内でも類を見ない規模です。今年度は初めて携帯トイレの設置訓練も実施いたします。

主催は当院で、鶴見区災害医療連絡会議(鶴見区医師会・鶴見区歯科医師会・鶴見薬剤師会・鶴見区社会福祉協議会・汐田総合病院・佐々木病院・平和病院・鶴見大学・鶴見消防署・鶴見警察署・鶴見区役所)や専門学校、済生会横浜市南部病院ほか、協力・関係機関とともに、当日は1つのシナリオをもとに複数の会場で同時並行で訓練が行われます。

近年、日本各地で大規模な自然災害や異常気象が相次ぎ甚大な被害をもたらしています。2025年12月8日には青森県で震度6強を観測する地震が発生し、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が初めて発表されるなど、巨大災害への備えが求められています。

自然災害では地域の医療拠点となる病院そのものが被災する場合もあり、医療設備が機能しなくなる可能性もあります。こうした状況のなか、災害拠点病院をはじめとする地域の医療機関および関係団体との連携が今後ますます必要不可欠となっています。

横浜市鶴見区における災害医療訓練は、県の災害拠点病院に指定されている当院が2007年から行ってきた院内の訓練が元となっており、周囲の関係機関に協力を依頼しながら、さまざまな機関・団体の多くの方々と共に災害時の動きや連携を確認、実践してきました。新たな一年の始まりに、災害へ備える意識を新たにすべく、済生会横浜市東部病院 災害医療総合訓練を開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、ぜひともご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

＜本件についてのお問い合わせ先＞

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:波多野・吉村・小島

TEL:045-576-3000 E-mail:koho@tobu.saiseikai.or.jp



【開催概要】

■タイトル

2025 年度 済生会横浜市東部病院 災害医療総合訓練



■日時

2026 年 1 月 18 日(日) 8:30~12:30



■会場

済生会横浜市東部病院

■テーマ

災害医療対策マニュアルに基づく初動対応の実証訓練

2024 年 9 月実施「2024 年度済生会横浜市東部病院災害医療訓練」の様子

■訓練目的

横浜市東部地域の災害拠点病院として、災害時における医療活動を円滑に実施するための知識・技術を習得する。また、院内の指揮命令系統を検証し、混乱なく機能することを確認することで、適切な意思決定と迅速な対応を可能にする。本訓練を通じて、災害拠点病院としての当院が地域医療の要として果たすべき役割を再認識し、災害時における地域との連携強化を図ることを目的とする。

■被災想定

平日日中、朝 8 時 45 分ごろ。横浜市内で震度 6 強の地震発生(都心南部直下地震)。鶴見区内に多数の医療対応が必要な負傷者が発生。一部の医療機関に倒壊の恐れあり。

■主な訓練内容

- * 災害対策本部の立ち上げ
- * 災害拠点病院としての地域連携
- * 多数傷病者エリアの立ち上げ
- * 多数傷病者の受け入れを想定したトリアージ
- * 災害時のトイレ対策に基づく携帯トイレの設置と動線、衛生面の確認
- * DMAT(災害派遣医療チーム)・DPAT(災害派遣精神医療チーム)院内指揮所の立ち上げ

■重点項目

- * 災害対策本部による連絡体制の徹底
- * 現場間における連絡体制の構築およびコミュニケーションツールの検証
- * 災害時におけるトイレ対策の実践



■アクセス

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1



＜交通のご案内＞

■車の場合

東京方面から: 首都高速道路「浜川崎 IC」または「汐入 IC」出口をご利用ください。

横浜方面から: 「岸谷生麦 IC」または「子安 IC」出口をご利用ください。

※上記 IC いずれからも当院まで約 15 分。「新鶴見橋西側」交差点をお入りください。

■主催

済生会横浜市東部病院（事務局：災害医療対策委員会）

■協力

鶴見区災害医療連絡会議（鶴見区医師会・鶴見区歯科医師会・鶴見薬剤師会・鶴見区社会福祉協議会・汐田総合病院・佐々木病院・平和病院・鶴見大学・鶴見消防署・鶴見警察署、鶴見区役所）や専門学校、済生会横浜市南部病院 他

【済生会横浜市東部病院について】



当院は平成 19 年 3 月 30 日に開院しました。横浜市東部地域の中核病院として「医療を通じて生命(いのち)を守る」という理念のもと、常に一步先の急性期医療の提供を目指し、国が示す 5 疾病・6 事業の推進、並びに近隣の病院、診療所及び介護・福祉施設との連携体制の強化による、地域完結型医療の構築に努めています。救命救急センターを併設し、小児科救急、精神科救急を含む救急医療に積極的に取り組み、災害時には災害拠点病院としての機能を果たします。がん、心疾患、脳血管疾患等に対する高度専門医療についても、最新鋭の医療機器を導入するなど一層充実させてまいります。また、現場を離れている潜在看護師の復職支援など地域貢献にも積極的に取り組んでおります。

【ご取材のお申込みについて】

取材をご希望される場合は、別紙に必要事項を記入の上、1月15日(木)16時までに、済生会横浜市東部病院 広報推進室 波多野・吉村・小島宛に、メール(koho@tobu.saiseikai.or.jp)にてご送付ください。